

### 「子供が未来を背負う」 守るのは大人達!

#### 北大井地区安全の取組み

平成11年6月、登校中にグリーンロード八満交差点において大型トラック（14トン）に、青信号で横断歩道を渡っている時に巻き込まれ死亡するという、いたましい事故が発生した事は、記憶にあると思います。

これを機会に「未来を背負う子供」を守るため、区長会、PTA、小中学校長

が立ち上がり、平成22年に小諸市長、小諸警察署長等を顧問に招き、総勢役員58名の組織で北大井安全協議会を発足させました。安全協議会は、年2回会議を開き、登下校の問題点摘出や改善項目を議論し、意見交換及び関係者に協力していただく場でもあります。

安全協議会からの改善例  
①グリーンベルトの設置  
②乗瀬区へ加増区間の歩道の確保（民家が道路に隣接しているので、地主の協力を得ながら改善中）

③歩車分離信号  
④通学路の路面に速度30km標識ほか  
小学校では、いたましい事故を再発させないために、6月初日を一斉集団下校の日と決め、安全教育を

実施し、地区別に分かれた教室に、区長、育成会（PTA）、民生児童委員、青少年補導委員、見守り隊、生徒が集まり、連絡事項報告後に一斉集団下校となります。

下校は、上級生を先頭に一列となり、後方に区長、民生児童委員、PTA、見守り隊がつきそい下校します。青少年補導委員は、横



東小学校の安全教育

断歩道につき旗振り指導や地下通路照明灯、落書の点検を行っています。

現在は、一斉集団下校は年4回実施しており、登校時はPTAによる横断歩道旗振りを行っています。

北大井では、区民一丸となり『事故はゼロ』をモットーに、子供達のために日々活動しています。

児童福祉部会長中澤隆治

### 一期多会

#### 「大切な時間」

友愛訪問・西部地区会議

小諸市の事業の一つ「友愛訪問」を、民生児童委員が担っています。見守りが必要な一人暮らしの高齢者のお住まいをお伺いしています。

訪問日、チャイムを押す時ちよつとドキドキしますが、ドアが開く瞬間が私はずっと楽しみです。「今日はどうな話か聞けるのかなあ。」と。ヤクルトをお渡ししながら、体調の事、



ヤクルトを手に友愛訪問

様子を、ちよつとお話します。メンバーは、民生児童委員・主任児童委員・小諸市社会福祉協議会職員です。

地区会長を始めとしてまじめな（？）メンバーです。最初何やら難しい会議をします。この時間も大切ですが、その後のトークタイムが、私にとり、とっても大切な時間第二弾です。和気あいあいとした時間の中で、テーマに真摯に向き合ったり、友愛訪問などの活動や研修の中で学んだことや困ったことが話し合われたりと、予定時間が超過しても話が弾みます。時にはうなずき、時には笑いがあるこの時間が、私の活動の源にもなり、ヒントにもなっています。

友愛訪問はもとより、活動でお会いする皆さんや、委員皆さんのお人柄、そこで生まれる「とっても大切な時間」に、私の日々の活動は支えられています。

西部地区民生児童委員